

令和4年度 学校評価 (R4年4月～R5年3月)

◇ 評価点は、Ⅰ～Ⅸのカテゴリーごとにある各項目を、〔3 : あてはまる 2 : ややあてはまる 1 : あてはまらない〕と採点し、その平均点として表したものである。

カテゴリー	自己評価評価点	学校関係者評価評価点
	概要・今後の課題	概要・今後の課題
Ⅰ 教育理念・教育目的	評価点〔 3.00 〕	評価点〔 3.00 〕
	概ね適切である。担任制での管理を見直し、学生自身が自律して学習し、単位履修を自己管理できる教育体制を構築する。	自己評価の内容を承認
Ⅱ 教育目標	評価点〔 3.00 〕	評価点〔 3.00 〕
	適切である。	自己評価の内容を承認
Ⅲ 教育課程経営	評価点〔 3.00 〕	評価点〔 3.00 〕
	適切である。教員ラダーを作成し自己評価した。課題を明確にし自己研鑽の計画を立てた。コロナ禍の対応フローチャートを作成しスムーズに運用できた。	自己評価の内容を承認
Ⅳ 教授・学習・評価過程	評価点〔 2.70 〕	評価点〔 2.70 〕
	概ね適切である。学生からの授業評価を基礎科目と学内の教員に実施したが、集計に時間を要し、タイムリーなフィードバックが出来なかった。	自己評価の内容を承認 Webアンケートを活用し集計の労力を削減してほしい。
Ⅴ 経営・管理過程	評価点〔 2.90 〕	評価点〔 2.90 〕
	概ね適切である。カウンセラーによる相談室を毎週開室し、メンタルサポートを強化した。学生が心理的安全性を保って実習ができるように、看護部との連携を密にする。	自己評価の内容を承認
Ⅵ 入学	評価点〔 3.00 〕	評価点〔 3.00 〕
	良好である。社会人や一般専願が増加している。募集枠や選抜方法を再考し、志のある優秀な人材を確保する。	自己評価の内容を承認 学校訪問のエリアを他府県にも拡大してほしい。
Ⅶ 卒業・就業・進学	評価点〔 2.80 〕	評価点〔 2.80 〕
	概ね適切である。コロナ禍で学内実習が増えたためか、早期離職する者もあった。就職先と連携を密にして、早期離職者を無くすよう支援する。	自己評価の内容を承認 同窓会活動を支援して、行事等を協働して行うなど、卒業生との連携を深めてほしい。
Ⅷ 地域社会／国際交流	評価点〔 3.00 〕	評価点〔 3.00 〕
	概ね適切である。コロナ禍で、地域と繋がる活動や行事が実施できなかった。	自己評価の内容を承認
Ⅸ 研究	評価点〔 3.00 〕	評価点〔 3.00 〕
	適切である。看護研究倫理審査会を立ち上げ、教員の看護研究の倫理審査を行い、学会発表することができた。	自己評価の内容を承認

◇学校関係者評価委員会 令和5年3月30日 本校会議室で開催

委員 奈良市医師会会長  
奈良県看護協会会長  
市立奈良病院事務部長  
市立奈良病院事務次長  
飛鳥地区自治連合会長